

平成27年度  
寄付金会計並びに機構事業のご報告④

事業名：防災・減災公開講座

主催：特定非営利活動法人日本防災士機構

協力：特定非営利活動法人日本防災士会

開催：平成28年3月27日（日曜）13時～16時30分

参加者：約70名（防災士、市民）

会場：アットビジネスセンター東京駅302号室  
（東京都中央区京橋1-11-2）

講師：木原 実（気象キャスター・防災士）  
鍵屋 一（跡見学園女子大学教授）

事業内容：当機構では、防災士へ最新の防災情報を提供すること、国民にわかりやすい防災啓発を行うことをめざし、社会貢献事業の一環として「防災・減災公開講座」を開催することといたしました。  
詳細は次頁以降参照（日本防災士機構ホームページより）。

事業費：当事業費用総額 374,050円

---

寄付金：平成26年度寄付金繰越額	2,131,232円
平成27年度寄付金総額	2,375,800円
平成27年度寄付金事業合計額	2,238,086円
平成27年度寄付金残額（期中分）	137,714円
平成27年度寄付金繰越額	2,268,946円

# 防災・減災公開講座。約 70 名参加

## テーマ ～首都を襲う 大規模災害に備える～

(平成 27 年 3 月 27 日開催)

日本防災士機構は、防災士へ最新の防災情報を提供すること、国民にわかりやすい防災啓発を行うことをめざし、この程、社会貢献事業の一環として「防災・減災公開講座」を開催することといたしました。平成 28 年 3 月 27 日(日)、その第 1 回目の講座を東京都中央区にあるアットビジネスセンター東京駅で開催しました。

当日は、事前に申込された約 70 名の防災士・一般市民の方々がご参加のなか、気象キャスター 木原 実氏、跡見学園女子大学教授 鍵屋 一氏のお二人の講師により「防災・減災」についての講座を頂きました。はじめに木原講師からは、「身近な防災対策を急げ」と題した講座が行なわれました。身近な防災対策として、家具類の転倒・落下防止対策に関して具体的な固定法が説明されました。さらに地震発生時には、まず第一にすべきこと「自分の身は自分で守る」、次に火の始末や脱出口の確保、そして家族の安否確認という一連の行動を説明されました。また、気象キャスターという仕事柄、身近な気象情報を有効利用して災害から身を守る方法などの説明がありました。

次に、鍵屋講師からは、「都市防災と防災リーダーの役割(自治体の防災・減災マネジメントを中心に)」と題した講座が行なわれました。鍵屋講師は、災害時に最適な判断、行動が出来る人間の力が大切であり、そのような人を育てることが最重要だと力説されました。地震発生時には、「絶対の正解はなく、その場で正しい判断ができるように訓練することが重要」とも話されました。「近くにいる人が助け合う”近助”が強くなれば、自助も新たな共助も公助も強くなる」と、当日の参加者に説かれていました。

また、「わが家の防災スタートブック」①持ち出し品、②重要情報、③減災編、④その時編と 4 種にわたる資料が配られました。特に「①持ち出し品」には基本品目 33 点がリスト化されており、数量やチェック項目、細かな説明が記されていて事前に用意しておくことの大切さを説いた資料が配られました。

## ■開催状況



木原 実先生(気象キャスター・防災士)



会場内の状況



鍵屋 一氏(跡見学園女子大学教授)



まず講座のはじめに・・・とリラックス体操